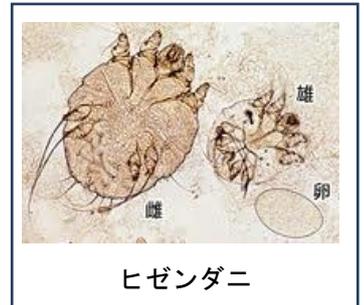


かいせん 疥癬ってどのような病気？

【疥癬とは】

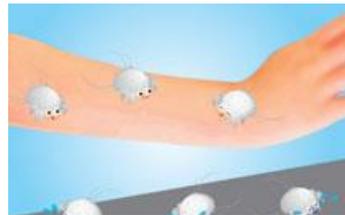
- **ヒゼンダニ**が皮膚の表面に住み着くことによってかゆみを伴う赤い小さなポツポツが出る皮膚病です。(刺したり、吸血したりしません)
- ヒゼンダニのメスは皮膚に潜り込み、トンネルを掘りながら卵を産み付けていきます。
- 疥癬には、通常疥癬と角化型疥癬があります。ダニの数は通常疥癬は少ないですが、角化型は数百万匹存在するため容易に他人に感染します。
- 通常、長い時間肌と肌が直接接触することで、ダニが移動して感染します。布団・シーツ、ベッドを共用することで感染することもあります。
- 感染してから症状が出るまでの期間はダニの量によりますが4～6週間です。



【ヒゼンダニの特徴】



熱・乾燥に弱く 50℃以上では10分間程度で死滅します



人肌の温度でないと動作が鈍くなりますが、1か月以上生きられると言われています。

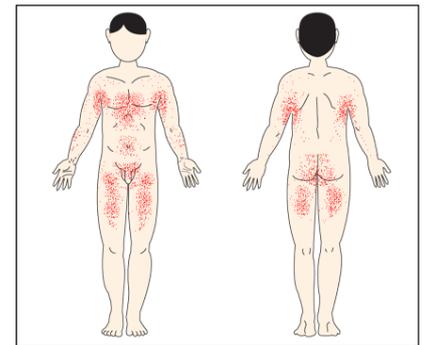


布地をかきわけ皮膚の中には潜り込めません

【症状】

皮膚のかゆみ・赤いポツポツ

⑨からだに小さい赤いポツポツがたくさんあり、とにかく痒い。塗り薬を塗っているがよくならずに、だんだんひどくなるときは、疥癬を疑ってみましょう。



【できやすいところ】

- ・手首から手のひら、指の間が多い。
- ・次いで肘、内股周辺、わきの下、おしりなどです。

【治療】

- ・殺ダニ剤の飲み薬：1回から2回飲みます
- ・かゆみを抑える塗り薬：首から下の全身に、ポツポツが無くても塗り残しの無いよう、くまなく塗ることが必要です。



⑨治療を中断すると、生き残った疥癬虫が再度増えてしまいますので、完治するまで、しっかりと治療を続ける必要があります。

【ご家庭でのお願い】

剥がれ落ちた皮膚の中にダニやダニの卵がたくさん潜んでいます。次のことに注意しましょう。

	通常疥癬	角化型疥癬（ノルウェー疥癬）
 <p>疥癬の人に触れるときは</p>	触れた後には石鹸でよく手を洗いましょう。	長い時間、肌と肌が 直接接触 ないようにしましょう。 場合によっては手袋や長袖で防護しましょう。
 <p>寝具</p>	同じ部屋で布団を並べて寝ることや、ざこ寝は避けましょう。 シーツについての 剥がれ落ちた皮膚を除去 するために粘着クリーナー（コロコロ）やシーツの交換を毎日しましょう。 乳幼児は部屋を別にしましょう。	
 <p>一緒にしないでね</p>	軟膏の効果を高めるために、入浴またはシャワー浴は毎日 しましょう（ <u>感染している人は最後に</u> ）。 入浴やシャワーができない場合は軟膏を拭き取りましょう。 からだを洗うスポンジなどやタオル・足ふきマットは別にしましょう。 浴槽は通常の洗剤で洗いましょう。消毒はいりません。	
 <p>洗濯</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・50℃以上のお湯を衣類にかけて、通常通りの洗濯をしましょう。（やけどに注意してください） ・天日干し、乾燥機・アイロンで熱を加えることも効果的です。 ・ナイロン袋に衣類を入れ殺虫剤を噴霧し密封、1時間放置したあと普通通りに洗濯してもよいでしょう。  <p>「疥癬対策パーフェクトガイド」p165より引用</p>	
	普段通りでよいです。	お部屋は、ダニを多く含んだ、剥がれ落ちた皮膚が舞い上がらないように 換気を行い掃除機で丁寧 に毎日掃除しましょう。
 <p>きちんと</p>	感染した人に接した後、洗濯や掃除をした後など、 石けんで手を洗い ましょう。 アルコール消毒薬は効果がありません。	



ご家族にかゆみ、ボツボツが出たときは、**早目に皮膚科を受診**しましょう。